「わたしらしく生きる～男女共同参画 啓発ブックリスト～」

大人から子どもまで.みなさまへ おすすめする本をえらびました。
すべて常陸大宮市図書情報館で借りることができる本です。
みなさまが自分らしく生きるためのヒントとなり、
くらしや生き方によりそう一冊になればうれしいです。

気になる本があれば、ぜひ、読んでみてください。

「男女共同参画社会」とは … 男女が互いに人権を尊重し、性別にかかわりなく、その個性と能力　を十分に発揮することができる社会をいいます。

みんなちがってみんないい

No.	書籍名	著者	出版社	推進委員からのコメント	対象年齢	請求番号等
1	女と男のちがいって？	作:プランテルグループ 訳:宇野　和美	あかね書房	女はよわい？男はえらい？ 女と男ってなにがちがう？ 体のつくりはちがうけど、女も男も同じ人間だ。いまの社会の「女と男」を考えよう。	小学校高学年～	/300/ｱ/
2	みんなおなじ　でも　みんなちがう	奥井　一満	福音館書店	植物や野菜などいろいろな食べ物が見開きで見れる本です。これには訳があって、例えばエダマメが見開きにたくさん並べられておりますが、同じエダマメでも見た目がちょっとずつ違うのに気がつきます。家族でそれぞれの違いを見つけながら楽しく読める本だと思います。 そして、それはエダマメだけではなく、人間もそうなんだよ、ということも教えてくれます。	4歳～	閉架書庫　/E4/ﾄ/

わたしらしくいきる

No.	書籍名	著者	出版社	推進委員からのコメント	対象年齢	請求番号等
3	しげるのかあちゃん	城ノ内　まつ子	岩崎書店	男女関係ない！なんでもやっちゃう頼もししい母ちゃんの話。 新しい母親像かな？！	3歳～	閉架書庫 /E9/ｵ/
4	ますだくんのランドセル	武田　美穂	ポプラ社	5人兄弟の4番目のますだくん。お姉ちゃんからもらった赤いランドセルを背負って学校へ。赤だとか新品でないとか全く気にしないますだくん。自分らしく生きることの大切さを考えたい。	3歳～	閉架書庫 /E9/ﾀ
5	いいたいことがあります！	作:魚住　直子	偕成社	家庭内での男女の役割の不公平さや母親に不満があり　いろいろ言いたいことのある女の子の物語。子育て中の親が読んでもドキッとさせられる本。	小学校高学年～	/913/ｳ/
6	しげちゃん	室井　滋	金の星社	滋は女の子。でも男の子みたいな名前のせいで学校では水色の名札を用意されたり、友達にからかわれたり。かわいい名前に変えてほしいと母親に直訴します。そこで、自分の名前の由来を知り、「滋」という名前を好きになります。どんな名前も両親がつけてくれた大切な宝物であり、性別は関係ないのだと気づかせてくれる作品です。	3歳～	/E9/ﾊ/
7	わたしはあかねこ	サトシン	文溪堂	「自分だけが違う」という環境の中で生きてきた赤ネコが、自分自身を見失いそうになりながらも、環境を変えたことで、自分の良さを分かってくれる相手と出会い、自分らしく生きていくというお話です。	5歳～	/E1/ﾆ/
8	ぼくのスカート	作:ピーター・ブラウン 訳:日高　庸晴	小学館	いつもはだかんぼうのフレッドが自分好みの服に出会うまでの話。好きなものを好きでいい。自分らしさを表現している絵本。	小学校低学年～	/E3/ﾌﾞ/
9	だがし屋のおっちゃんはおばちゃんなのか？	多屋　光孫	汐文社	「男らしさ、女らしさ」を考えさせる作品。自分らしく生きることの大切さが感じられる一冊。	4歳～	/E3/ﾀ/

いろんなかぞくのかたち

No.	書籍名	著者	出版社	推進委員からのコメント	対象年齢	請求番号等
10	パパはステキな男のおばさん	石井　睦美	BL出版	ママが働いて、パパは専業主夫。そんな家庭、これから増えるでしょうか？ 立場が変われば、違う余裕が生まれるかも	小学校低学年～	/913/ｲ/
11	クマとうさんのこもりうた	作:デビ・グリオリ 訳:山口　文生	評論社	よその子だって、子守りする・・・ クマとうさんの奮闘物語	1歳～	閉架書庫 /E9/ｸﾞ/
12	だいじょうぶだよ、おばあちゃん	福島　利行 塚本　やすし	講談社	「介護とは何か？」 「子どもと高齢者の体の違いは何か？」 子どもが知ってほしいこと、考えてほしいことがストレートに描かれています	小学校低学年～	閉架書庫 /E3/ﾂ/
13	いろいろいろんなかぞくのほん	作:メアリ・ホフマン 訳:杉本　詠美	少年写真新聞社	家族って何だろう。そんな子どもからの素朴な疑問に答えるかのように、分かりやすく、いろんな家族のありかたを、かわいいイラストとともに示している。「いろんな家族があっていい」そんな気持ちにさせてくれる1冊です。	5歳～	/E9/ｱ/
14	そして、バトンは渡された	瀬尾　まいこ	文藝春秋	2019年に本屋大賞を受賞し、2021年10月には映画化もされた小説です。 自分と当て嵌めながら「家族」や「幸せ」など考えさせられる、深い言葉もあり、「親子関係はこうあるべき」「父そして母はこうあるべき」といった概念を考え直すことができる一冊だと思います。	中高生～	/F/ｾｵ/

おんなのこにげんかいはない

No.	書籍名	著者	出版社	推進委員からのコメント	対象年齢	請求番号等
15	せかいでさいしょに ズボンをはいた女の子	作:キース・ネグレー 訳:石井　睦美	光村教育図書	私たちが、今すきな服を着られるのも、こんな子がいた おかげです	小学校低学年～	/E3/ﾈ/
16	おかあちゃんがつくったる	長谷川　義史	講談社	ミシンで何でも作ってしまう・・・ ステキなおかあちゃん	3歳～	閉架書庫 /E9/ﾊ/
17	発明家になった女の子マッティ	作:エミリー・アーノルド・マッカリー 訳:宮坂　宏美	光村教育図書	空前の発明ブーム、でも女性には活躍の場が全くなかった時代のアメリカのお話。そんな時代にプロの発明家として、22の特許を取得、90を超えた独創的な発明を行った主人公マッティ。いろいろな偏見にあいながらも粘り強くやり通したマッティ。女性に希望を与えてくれる本。	小学校中学年～	/E2/ﾏ/

”たようせい”を知る

No.	書籍名	著者	出版社	推進委員からのコメント	対象年齢	請求番号等
18	そらをとびたかったペンギン	申　ももこ	学苑社	森に住むペンギンのモモはそらを飛びたかったけどできずに、自分に自信を失っていく。悲しくなったモモは森を離れ、歩き出す。そしてやっと・・・。人それぞれ違いを受入れることの大切さ、集団の中で共に気持ちよく生きていく方法について教えてくれる本。	5歳～	/E3/ﾊ/
19	ぼくはイエローでホワイトで、ちょっとブルー	ブレイディみかこ	新潮社	本屋大賞、八重洲本大賞など11冠を達成した、ノンフィクション・エッセイ本です。 この本のテーマである「多様性」については、現実の問題としてより身近に感じることができると思います。 なかでも、著者であるブレイディみかこさんの言葉で、「多様性は、うんざりするほど大変だし、めんどくさいけど、無知を減らすからいいことなんだと母ちゃんは思う」この言葉には、私自身ハッとさせられました。他にも自分はどうだろう？と、自問自答できる言葉がちりばめられているので、新たな気付きを得られると思います。	中学生～	/376/ﾌﾞ/

※多様性とは　…　性別・国籍・人種・年齢など様々な違いを問わず「多様な人材を認め、活用すること」です。

おとなにもおすすめ

No.	書籍名	著者	出版社	推進委員からのコメント	対象年齢	請求番号等
20	82年生まれ、キム・ジヨン	作:チョ・ナムジュ 訳:斎藤　真理子	筑摩書房	生まれたとき、学生時代、就職、結婚、育児･･･ どうして「女」に生まれただけで･･･	一般 ※映画にもなっています	山方　/929/ﾁ/ 緒川　/929/ﾁ/
21	ペコロスの母に会いに行く	岡野　雄一	西日本新聞社	漫画とエッセイで綴られた本で読みやすいと思います。	一般	/916/ｵ/
22	あおくんときいろちゃん	作:レオ・レオーニ 訳:藤田　圭雄	至光社	絵の具で描かれた青や黄色のまるが生き生きと動き回り、絵本ならではの夢と感動をもたらしてくれる。作者が孫にせがまれて作った人間味あふれる絵本。この本はもう古典といわれているようですが、青と黄色が重なってまったく違った緑になるというテーマが人と人との心の融和を暗示するものとして、アメリカではおとなたちの間でも好評だそうです。	2歳～	閉架書庫 /EA/ﾚ/
23	ぼくがあかちゃんだったとき	浜田　桂子	教育画劇	誕生日祝いに来てくれる祖父母を母が迎えに行き留守の間、イクメン父が6歳になった息子に生まれる時からのことを話してきかせるお話。	6歳～	閉架書庫 /E5/ﾊ/
24	見えない学力が身につく　勉強よりもお手伝い	粂井　優子	セルバ出版	本書は、社会の最小単位である家庭から、誰もが助け合い感謝し合い、自己価値を感じられる世界を作っていくことの大切さを教えてくれます。	一般	/379.9/ｸ/
25	くまとやまねこ	湯本 香樹実	河出書房新社	大切な友との別れを経験し自分を癒やす時間を経て新しい友と出会っていく物語。 喪失と再生はどの世代の人にも共通の課題だと思います。是非読んでみてください。	3歳～	/E1/ｻ/

高校生にもおすすめ

No.	書籍名	著者	出版社	推進委員からのコメント	対象年齢	請求番号等
26	男子が10代のうちに考えておきたいこと	田中　俊之	岩波新書	男性学の研究者が、若者たちにむけて書いた本。進路や将来の選択に、自分らしさを生かすための、どうしたらよいのかを指南。男子高生に語りかけるように書かれた箇所もあるが、女子高学生にもおすすめ	10代～	Y/159/ｲ/
27	1945年のクリスマス―日本国憲法に「男女平等」を書いた女性の自伝	ベアテ・シロタ・ゴードン	柏書房	日本国憲法の草案作りに、若干22歳の時に携わることになったベアテさんの自伝。 女性の権利にかかわる憲法24条の条項執筆に携わったとして知られているベアテさんが、日本国憲法誕生の秘話を日本女性に向けて語る。映画「ベアテの贈り物」も必見。	10代～	緒川/289/ｺﾞ/